

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年1月4日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873100648		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム たんぽぽ	ユニット名	西館
所在地	〒319-0101 茨城県小美玉市橋場美20-1		
自己評価作成日	平成28年9月4日	評価結果 市町村受理日	平成29年1月10日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0873100648-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0873100648-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年10月5日	評価確定日	平成29年1月4日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

毎日 食べる食事が美味しいと 入居者から評判です 毎日家庭的な雰囲気です。事業所のすぐ近くに母体の病院が有り緊急時には直ぐに駆けつける対応ができ医療的な面で安心して生活できます。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

運営母体が医療法人なので、週1回訪問診療を支援したり、急変時には24時間体制で対応ができることは、利用者や家族等の安心につながっている。  
同一法人の事業所が複数隣接しており、行事等で利用者同士の交流が多いほか、近隣からは差し入れを頂くなど、地域とのつながりを持ちながら生き生きと暮らしている。  
献立は同一法人の管理栄養士が作成して食材が配送センターから届くほか、自家菜園で収穫した旬の野菜も取り入れながら職員が調理して季節感を味わうなど、利用者から好評を得ている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を事務所やホールに掲げ、更なる実践につなげています	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を管理者が作成し、事務室や玄関、ホールに掲示するとともに、申し送り時に唱和したり、週1回のユニット会議時に確認して共有を図り、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアを積極的に受け入れたり、近隣の友が遊びに来られたり施設の行事に参加いただいています	同一法人他事業所と合同で行う収穫祭には、地域住民を招待して参加を得ている。 小学生の子どもヘルパーや地域住民のリハビリ体操のボランティアを受け入れており、日常的に地域住民と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣への買い物で認知症の方々の理解を深めてもらい、利用するにあたって協力も得ている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通してホームの活動を理解して頂くよう努めている。委員の方から率直な意見を聞きサービスの向上に生かしている。	運営推進会議は家族等の代表や市職員、民生委員、地域住民、管理者、職員で2ヶ月に1回開催している。 事業所からは行事や利用者の状況報告のほか、事業所の取り組みなどを報告し、委員からは率直な意見を取り入れて、情報交換をしている。 委員である地元の元看護職員が夏風邪や食中毒について講話し、事業所の内部研修にも役立った。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議、認定調査を通じて、包括支援センターや社協との関わりを大切にコミュニケーションを図れるよう努めている	市担当者が毎回運営推進会議に出席しているほか、管理者は電話で相談したり、要介護更新申請などで直接市窓口に出向いて情報交換をしており、何かあればすぐに相談できる関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	言葉や態度に気をつけ抑圧感のない対応を心掛けている。外に出かけようとする利用者には、一緒に出かけ納得するまで付き合うようにしている。どうしてもと思う時以外は施錠しない工夫をしている。	身体拘束廃止に向けたマニュアルを作成するとともに、年1回内部研修を実施し、研修に参加できなかった職員には研修内容を回覧して周知するなど、全職員で身体拘束となる具体的な行為について理解している。 やむを得ず身体拘束を行う場合に備え、同意書や経過観察記録等の書類を整備している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について常に考え危険性を十分理解し、職員同士声を掛け合い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は、制度の内容の理解・学ぶ機会を持ち皆で話し合い、生かしているよう支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時重要事項説明書で理解をいただけるよう十分に説明を行い理解納得をはかっている	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの玄関に意見箱を設置しており、意見、要望等気がついた点を気軽に記入してもらおう。ご家族の来訪時に声かけし直接聞くようにしている		
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や職員会議の折には意見や提案を聞く機会を設けている	管理者は月1回の職員会議や朝の申し送り時のほか、日頃から話し易い雰囲気づくりを心がけている。 職員の意見を受けて、自家菜園で収穫した旬の野菜や山菜を食材に取り入れたことで、利用者が季節の味を味わえるようになった。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営母体である法人で月1回定例会を実施し、意見や要望などの話し合う機会を設け、職員待遇への反映や向上心を持って働けるような配慮対応に努めている	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や職員の研修を受ける機会を取り、介護技術や質の向上となるよう取り組んでいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者や他職種の方との勉強会や訪問などを通じて一つでも多くの物に取り組んでいきたい		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人に入居前に見学していただいたり、希望があれば体験入所も行っている。出来るだけ、利用者または家族の希望に添えるようにしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族とは十分な話し合いを行い不安を取り除き要望など家族の思いをよく理解し、安心のできる関係に近づけるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の意向をしっかりと把握し、安心してサービスを受ける事ができるように努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自分で出来る事は自分で、出来ないところは支援し一緒に過ごす事で学ぶ事や気遣ってもらうことも有りお互いに支えあうかんけいを築けるよう努力している		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人にとって家族が一番大切な方である事を常に説明し情報交換を密にして気軽に面会などに来てもらえるよう働きかけている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や親戚の方々の面会を歓迎し、次回の面会に繋がるようにしている	入居時の聴き取りや利用者との日々の会話、申し送りノートなどから、利用者が築いてきた馴染みの人や場所を把握するように努めている。 利用者の友人や親戚が来訪した際には、お茶を出して寛いで過ごせるような雰囲気づくりをしているほか、馴染みの理美容室や買い物、自宅への外出・外泊のほか、外食や墓参りなどに家族等の協力を得ながら出かけ、これまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共有の場所での入居同士のトラブルには特に注意して見守っている 安心して生活ができる環境づくりに取り組んでいる		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病気で入院された方にも時々お見舞いに行き、情報交換を行い、又、事情により退去後もより良い関係を保ち、何でも話せる雰囲気作りに取り組んでいる		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや意向を日々の会話の中で把握するよう努めている 又、家族の意向に添ったサービスができていくか常に話し合いを行い検討している	管理者と職員は、利用者の表情や仕草、態度のほか、個人記録や申し送りノートから一人ひとりの思いや希望の把握に努めるとともに、ユニット会議などで周知して共有している。 意思の表出が困難な利用者の場合は、家族等の来訪時に話しを聴いたり、表情や仕草から思いや意向の把握に努め、利用者本位の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人も忘れかけている生活歴や馴染みの暮らし方など家族とも話し合いの中から深り、日々の信頼関係を築きながら時間をかけて把握するよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムやその人らしい暮らし方うい理解し生活の様子はケース記録に、状態は申し送りノートに記録し、総合的な把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がその人らしく暮らすために、できることと出来ないことを本人と家族にその要望を聞き、満足又納得してくださるよう現状に即した計画作成に全員で取り組んでいる	介護計画は家族等の意向や要望を取り入れながら、管理者と職員で話し合っ計画作成担当者が作成し、面会時や面会に来られない家族等には郵送して同意を得ている。 モニタリングと短期目標は3ヶ月毎、長期目標は6ヶ月毎に設定し、基本的に1年毎に計画の見直しをしている。 利用者の状態等に変化が生じた場合は、随時モニタリングをして現状に即した介護計画に見直しをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録をケース記録に記録し、生活の様子、食事摂取量、排泄などは別の記録に記録している情報は毎朝の朝礼で話し合いをし実践につなげている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望や訴えを良く聞き必要に応じて支援やサービスの多機能化に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議などで日頃より連携を取れるよう働きかけたり、近隣の友人やボランティアの受け入れを行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週一回の主治医の回診や月2～3回の外来受診の折に検査等も行っている 本人や家族の希望を大切に今までと同様のかかりつけ医の受診もできる	契約時に利用者や家族等に希望するかかりつけ医への受診が可能なことや、協力医療機関の医師をかかりつけ医にできることを説明し、確認を得ている。 月3回の協力医療機関の医師による訪問診療のほか、週1回主治医の訪問回診を支援しており、受診結果は家族等に電話で報告するとともに、個人記録や申し送りノートに記載して職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	関連病院に看護師との健康管理や受診の相談を行っている 週一回の来館の折には記録等もしていただいている		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際はいつでも面会でき、又、家族がいつでも来られるようにし、馴染みの関係が継続できる病状の交換や説明やアドバイスを受け、混乱なく過ごせるような体制をそなえている	/	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期は関連の病院と連携随時できる 又、家族と密に情報交換を行ない、このホームはこのよう協力ができることを十分に説明しながら支援に取り組んでいる	契約時に利用者や家族等に重度化や終末期、看取り介護について説明し、書面にて同意を得ている。 事業所では看取り介護は行わないとしているが、緊急時マニュアルを作成して各棟に掲示し、職員はいつでも対応できるように日頃から備えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルが各棟に掲示しており職員は日頃から意識し、緊急時にはマニュアルに従い対応できるよう定期的に訓練を行ない実践力を向上させている	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練を実施している。運営推進会議を通して近隣住民の避難訓練への参加を検討中です	夜間想定を含む避難訓練を年2回実施し、訓練の記録を作成しているが、火災以外の想定訓練や避難に要した時間を記録に残すまでには至っていない。 災害に備えて米や水、食料品、懐中電灯、おむつ類、毛布、ラジオなどを一覧表を作成して備蓄している。	地震等に備えた訓練の実施や、避難に要した時間を記録に残すことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を傷つけない言葉かけに気をつけて対応している。職員間で確認しあっている	プライバシー保護に関する内部研修を実施し、職員は利用者の人格を尊重するとともに、自尊心に配慮した言葉かけを心がけている。 個人情報の取り扱いについては、契約時に家族等から書面にて同意を得ている。 個人情報に関する書類は、施錠できる書棚に保管し、取り扱いに注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	人それぞれが自分の思いや希望を表すことが出来るよう、時間をゆとり取り、待つ事の大切さを心掛けている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとり一人の特徴を把握し、本人の嫌がる事は無理せず、本人のペースを大切にした支援を心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧品などの買い物を依頼され、おしゃれを楽しんで頂いている。不十分な時はさりげない声かけを心掛けている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備を利用者が一緒にすることは無理があるが、下膳については出来る方は自分でして頂いています	法人の管理栄養士が献立を立て、配送センターから食材が届いて職員が利用者の嗜好を把握し、苦手な食材の場合には代替え食を用意するなど配慮しながら調理をしている。 正月や雛祭り、敬老会、クリスマス会などには行事食を提供するほか、家族等の協力を得て外食に出かけている。 利用者はできる範囲でテーブル拭きや下膳などを一緒に行っており、職員は利用者と同じテーブルに着いて食事介助をしたり、楽しく話をしながら同じ食事を摂っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が献立をきちんとカロリー計算をしてバランスのよい食事作りをしている。食事の摂取量を毎日記録して一人ひとりの健康状態を把握できるようにしている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、又うがいをしている。出来ない方には見守りや声かけ、介助して行っている。必要に応じて歯科医の訪問もお願いしている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを職員が把握し、その人の時間に合わせて声かけをしている	職員は排泄チェック表や個人記録を活用し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の仕草やサインから察知してさりげなく声かけ誘導し、できるだけトイレで排泄ができるよう支援しており、おむつから布パンツに改善した利用者もいる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を使用し毎日の排便を確認している。個々の状態に応じ水分補給や軽い運動で自然排便が出来るよう心がけている。場合によっては、下剤を使用する事もある。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2回の入浴を実施しているが、夏など汗の多く出る季節には随時シャワー浴ができるよう支援をしている (西館はシャワー機械浴を設置している)	入浴は週3回を基本とし、状態によっては機械浴槽を使用できるように設置している。 入浴を拒む利用者には強要はせず、職員や時間帯を変えたり、清拭や足浴で対応をしているほか、季節に合わせて入浴剤などを利用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は利用者の希望や体調に合わせて休息できる環境整備している。夜間は寝付けない時は、一緒にお茶を飲んだり話を聞くなど対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋の内容は個人のケース記録に保管し薬の内容や副作用等把握できるように努力している。服薬までにス名の職員がチェックする体制を取る事で誤薬には十分注意している。なんらかの変化があった時は、いつでも医師、看護師に連絡をとっている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や出来る事を把握し楽しみや役割を持って生活出来るよう場面作りを心掛けてている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には各棟ごと散歩に出かけ自販機で好きなジュースを選んで買うなどしている。4月に年に1回全員で花見に出かけ外食する支援をおこなっている。普段いけない場所には家族の協力を得ている。	天気の良い日には利用者の希望で買い物に同行したり、ユニット毎に事業所周辺を散歩して、自動販売機で飲み物を購入するなどしている。年間行事計画を立てて、家族等の協力を得ながら車いすの利用者も一緒に、外食を兼ねた花見などに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の希望や能力に合わせて、お金を管理して頂いている。買い物や受診料の支払いを行っている方もいます		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人の希望に応じて、職員がご家族に電話ををし、本人に代わり話をして頂くなどとの都度対応してる		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	大きな窓からみえる景色は、ジャガイモ畑が広がり収穫時や花が咲く時期にはジャガイモの話題になったり、季節の変化を感じ取れる	事業所前には花壇があり、季節を感じることができる。 玄関には転倒防止に椅子を配置しているほか、利用者が制作したビーズ画を掲示している。 居間兼食堂には、利用者と職員で制作した吊るし雛や子どもボランティアが制作したカレンダーを掲示しており、テレビ前にはソファを配置しているほか、一角に小上がりの和室があるなど、利用者は思い思いの場所で寛ぐことができる環境となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはソファを置いて気の合った利用者同士で座れる場所を作っている。自由に過ごせる時間、居場所の工夫をしている	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で慣れ親しんだ思い出の品などを家から持ってきて頂いています。家族の写真を飾ったりそれぞれの方にあった居室作りをしている	居室にはカーテンやエアコン、洗面台、整理箆笥、ベッド、寝具床頭台、ナースコールが備え付けられている。 管理者は入居時に使い慣れた物品を持参して貰えるよう説明しており、利用者は家族等と相談しながら使い慣れた寝具類や衣装ケース、目覚まし時計、箆笥、家族の写真、位牌、ラジオなどを持ち込んで、居心地よく暮らせるよう工夫している。	/	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりのできる事を理解、その人の力の応じた行動を見守り安全に過ごせるよう工夫している(洗濯物をたたむ、テーブル、ゴミ出し、草取りなど)、	/		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームたんぽぽ

作成日 平成29年1月7日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	地震などに備えた訓練の実施や、避難に要した時間を記録に残すことを期待する。	地震など災害に備えた避難訓練を行い避難に要した時間も毎回記録する。	次回の訓練から、災害を想定しての訓練も行う。 避難に要した時間を計り、記録に残し時間の短縮に生かしていく。	6ヵ月
2	6	家族等の率直な意見や要望を汲みあげるよう、無記名の家族アンケートを実施することを期待する。	家族等の隠れたご要望も見つけ出し、真のご要望に添えるようにしていく。	家族に無記名のアンケートを実施し、見えていない意見や要望をくみ上げるようにする。 結果等は運営推進会議などで話し合う。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。